

## 令和6年度防災講習会（実施結果概要） 「災害発生時に取るべき適切な行動を学びましょう」

1. 開催日時：6月29日土曜日 午前9時45分から11時45分（2時間）
2. 会場：沼南近隣センター「ひまわりプラザ」1階大ホール
3. 講師（発言者）：  
第1部（9:45～10:15）古山当会防犯防災部長  
第2部（10:15～11:35）柏市防災研究会 松清智洋氏  
その他：風北ジョイナスからの告知
4. 講習会内容：概要はひまわり通信第2号及び講習会配布資料も参照願います。  
第1部「住民で行って欲しい3つ+αの訓練」  
これを柏市内のより多くの市民が実施することで、現行の行政主導防災訓練はほぼ必要なくなる＝防災行政のスリム化や他の業務（より必要な部署）への市職員配置転換にもつながることでは非常に有効な活動であることを強調。  
第2部「防災講習会」での講師発言の主なポイント
  - ✓ 冒頭、今年1月1日発生 of 能登半島地震の被害状況につき、マスコミ報道や氏が自ら現地ボランティアとして訪問した際撮影した内容を中心に紹介。被災地と県の心臓部である金沢市、千葉県全体の中での房総半島と柏市の地理的な距離を比較、被災地避難所の様子（非常に劣悪な環境：体験住民が語る悲惨な避難生活の現状手記を含む）、幹線交通路遮断、ライフライン供給停止、情報不足の悪条件が災害復旧を遅らせたこと、ボランティアが現地になかなか浸透できない環境であったことが課題で示された。
  - ✓ 講習会本題では、地震が起きた際の初動から避難移動までの行動（3分間は自身の安全確保、3時間以内に家族の安否を確認し安全な居場所を確保、外部からの救援が本格化する3日間は家族や地域で支え合う）が示された。
  - ✓ 避難時の持出し品は事前に考え用意しておくこと（それぞれの世帯ごとに内容は異なるが、基本的に必要な物資は日頃から用意しておく）。
  - ✓ 多様化する避難形態の中では、「在宅避難」が損壊さえなければ一番安心できる場所ながら、ライフライン停止環境下で、必要な生活物資確保（避難所まで取りに行くことなど）をどうするかを避難所運営の地域内で想定しておく必要がある。
  - ✓ 災害情報入手手段は各自、各世帯で複数確保しておくこと。情報不足が人命を含む大事故や二次災害に繋がる。防災アプリ、ネットでの気象情報、市のハザードマップ。

- ✓ 自分が日頃生活する場所が過去にどういった地形、地勢であったかを知っておくことも、水害や地震で土地が危くなる可能性の把握に活用。
- ✓ マイタイムラインを事前に策定しておくことが重要。
- ✓ 災害発生時にとるべき共助関係では、国が数年前から各地方自治体の実施を求めている、高齢者や身体障害者（いわゆる要支援者）への個別避難計画に触れ、市が行っている防災福祉 K ネットを取り上げる。その中でも、K ネット登録者に配布される防災キットの有効性を強調。

その他として、地域女性防災活動サークル「風北ジョイナス」からの告知、メンバー募集中の案内が示された。

### 会場の様子



被災地（石川県）と千葉県房総半島  
金沢市と柏市の距離感の比較



40名を超える住民の皆さんが  
受講されました



講師を務められた柏市防災研究会の  
松清智洋さま



風北ジョイナスも

PRで参戦(チャレンジ)!



以上

本講習会で使用されましたスライド資料のデータ（5 MB 超）または印刷紙面をご希望の方にご提供します。紙面は当会事務室でのお渡しとなります。メールでご用命ください。✉宛先：boux2@kazakita.org